



幻の壺(本多静雄旧蔵)

短頸壺 渥美窯(銘 従五位下惟朝臣遠清)/愛知県陶磁美術館蔵

黒い壺(本多静雄旧蔵)

葛沢の蓮弁文壺 豊田市指定文化財/豊田市所蔵

民芸の森オープン10周年 特別企画

幻の壺と黒い壺

—本多静雄のやきものの奇遇談—

2026年4月25日[土]—8月30日[日]

開館時間:午前9時30分~午後5時

休館日:月曜日(ただし5月4日、7月20日は開館)

会場:豊田市本多記念民芸の森 田舎家(青佳居)

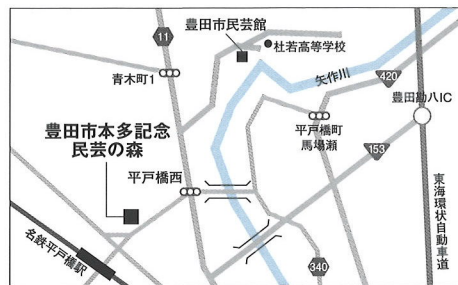
観覧料:無料

豊田市名誉市民で実業家、日本有数の古陶磁研究者として知られる故・本多静雄(1898—1999)。その所以となっているのが、猿投古窯と渥美古窯の発見です。本多の強い好奇心から発見された渥美古窯の存在は、古陶磁研究において学術的にも高く評価され、歴史的にも非常に貴重なものです。本展では、本多静雄の古陶磁研究の原点であり、自身のエッセーで「幻の壺」と「黒い壺」と名づけた2点の作品を通して、本多のやきものに向けられた深い眼差しを紹介します。

豊田市本多記念 民芸の森

〒470-0331 愛知県豊田市平戸橋町石平60-1 TEL:0565-46-0001

<https://www.mingeikan.toyota.aichi.jp/mingeinomori/>



〈電車〉名鉄三河線平戸橋駅より徒歩約5分
〈お車〉(名古屋方面から)猿投グリーンロード・枝下ICから約10分
(多治見・岡崎方面から)東海環状自動車道・豊田勘八ICから約10分



関連事業

- 講演会「本多静雄の古陶磁研究—渥美古窯発見の意義」 ●愛知県陶磁美術館 学芸員 大西 遼 ●日時:6月27日(土)14:00~平戸橋こいの広場 多目的室
- 担当学芸員によるギャラリートーク ●日時:5月9日(土)、6月6日(土)、7月4日(土)、8月8日(土)いずれも14:00~